

科目名	物理基礎	単位数	2単位	学科・学年	全（選択）科	3年
使用教科書	改訂 新編 物理基礎 東京書籍			副教材等		
学習目標	物理的な事物・現象について学習を行い、自然に対する関心や探究心を高め、物理学的に探求する能力と態度を養うとともに基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につける。					
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめ（定期考査までを学習のひとまとめ）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①関心・意欲・態度	物理に関心を持ち、意欲的に授業に参加しようと努力しているか。				
	②思考・判断	自然の事物・現象を物理学的にとらえ、基本的な原理・法則をもとに問題解決できるか。				
	③技能・表現	実験・観察などを円滑に進め、その結果をまとめることができるか。				
	④知識・理解	物理の基本的な原理・法則について知識・理解を深めることができるか。				
		評価方法\観点	①	②	③	④
学習状況観察		◎	—	—	—	机間巡視、観察
探求活動・課題プリント		○	◎	◎	◎	補助教材
ノート・プリント提出		◎	—	◎	—	学期に数回提出
ペーパーテスト		—	◎	○	◎	定期テスト
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「物理基礎」は、物理学的な方法で自然の事物・現象に関する問題を取り扱います。テレビ・新聞などで報道される身近な科学（番組・記事）に関心をもつよう心掛けてください。</li> </ul>					

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 ( 評 価 方 法 )
1	4	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 1.速度 2.加速度 3.落体の運動	12	物体の基本的な運動について理解し、グラフや式を使って運動を分析できるようにする。	学習状況観察 補助教材 提出物 中間テスト
	5	第2章 運動の法則 1.力とのはたらき 2.力のつりあい 3.運動の法則 4.摩擦を受ける運動 5.液体や気体から受ける力	12	物体にはたらくさまざまな力について学習し、物体にはたらく力と運動についての法則を理解する。	
	6	第3章 仕事と力学的エネルギー 1.仕事 2.運動エネルギー 3.位置エネルギー	6	エネルギーを測るものさしとしての仕事、仕事をする能力としてのエネルギーについて理解する。	学習状況観察 補助教材 提出物 期末テスト
	7	4.力学的エネルギー 科学の研究の進め方	4		
2	9	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 1.熱と熱量 2.熱と物質の状態 3.熱と仕事 4.不可逆変化と熱機関	10	エネルギーとしての熱の性質や不可逆性について理解する。	学習状況観察 補助教材 提出物 中間テスト
	10	第3編 波 第1章 波の性質 1.波と媒質の運動 2.重ねあわせの原理 第2章 音 1.音の性質 2.発音体の振動と共振・共鳴	10	波の基本的な性質、音波について理解する。	
	11	第4編 波 第1章 物質と電気抵抗 1.電気の性質 2.電流と電気抵抗 3.電気とエネルギー 第2章 磁場と交流 1.電流と磁場 2.交流と電磁波	10	電気の性質や法則性について学習し、理解する。	学習状況観察 補助教材 提出物 期末テスト
	12	第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーの利用 1.エネルギーの移り変わり 2.エネルギー資源と発電	2	さまざまなエネルギーの特性や利用について、学習し、理解する。	
	3	第2章 物理学が拓く世界 1.摩擦をコントロールする 2.エネルギーを利用する 3.見えないものを見る	4		学習状況観察 補助教材 提出物 卒業テスト